

資料提供	
令和7年 4月 2日	
担当課 (担当者)	感染症対策センター (衛生環境研究所) (福田、最首)
電話	0858-35-5415

鳥取県感染症流行情報

第13週 [令和7年3月24日(月)～3月30日(日)]

【お知らせ】

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。

<主な定点把握対象感染症>

疾病名	東部	中部	西部
インフルエンザ	△	×	○
新型コロナウイルス感染症	△	△	△
感染性胃腸炎	◎	◎	○
水痘(水ぼうそう)	○	○	×
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	×	×	×
手足口病	△	×	×
ヘルパンギーナ(夏かぜ)	×	×	×
咽頭結膜熱	○	◎	×
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	★★	★★	★★
流行性角結膜炎	△	×	×
マイコプラズマ肺炎	×	○	×
伝染性紅斑	◎	×	◎
RSウイルス感染症	○	△	○

★★ 警報又は警戒レベル ★ 注意報又は注意レベル ◎ 流行している
○ やや流行している △ 散発 × 患者発生極少又はなし

※これまで警報発令時に警報独自マーク(★)で表記していましたが、今週から警報発令時又は警戒レベル(★★)、注意報発令時又は注意報レベル(★)に変更致しました。

<定点当たりの患者数>

(人)

疾病名	東部	中部	西部	全県	全国(第12週)
インフルエンザ	0.75	0.50	2.45	1.34	1.98
新型コロナウイルス感染症	3.08	2.83	3.36	3.14	3.23

※インフルエンザ注意報・警報 注意報： 定点当たり10人/週 警報： 定点当たり30人/週	※新型コロナウイルス感染症注意レベル・警戒レベル 注意レベル： 定点当たり10人/週 警戒レベル： 定点当たり20人/週
---	--

鳥取県感染症発生動向調査情報（週報）

第13週 [令和7年3月24日(月)～30日(日)]

(地区別)

令和7年4月2日 作成 (件)

	東 部		中 部		西 部		合 計			県内1定点当		全国1 定点当
	13週	前週比	13週	前週比	13週	前週比	13週	12週	前週比	13週	12週	12週
インフルエンザ/COVID-19定点数	12		6		11		29					
1 インフルエンザ	9	82%	3	33%	27	245%	39	31	126%	1.34	1.07	1.98
2 新型コロナウイルス感染症	37	100%	17	89%	37	123%	91	86	106%	3.14	2.97	3.23
小児科定点数	8		4		7		19					
3 咽頭結膜熱	2	—	10	1000%	0	0%	12	8	150%	0.63	0.42	0.26
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	92%	18	225%	8	40%	62	67	93%	3.26	3.53	1.96
5 感染性胃腸炎	57	104%	41	65%	29	57%	127	169	75%	6.68	8.89	9.04
6 水痘	7	350%	2	200%	0	—	9	3	300%	0.47	0.16	0.32
7 手足口病	1	100%	0	—	0	—	1	1	100%	0.05	0.05	0.04
8 伝染性紅斑	8	200%	0	—	10	167%	18	10	180%	0.95	0.53	0.67
9 突発性発疹	1	33%	0	—	2	200%	3	4	75%	0.16	0.21	0.18
10 ヘルパンギーナ	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.01
11 流行性耳下腺炎	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.03
12 RSウイルス感染症	7	350%	1	—	5	167%	13	5	260%	0.68	0.26	1.18
眼科定点数	2		1		2		5					
13 急性出血性結膜炎	0	0%	0	—	0	—	0	1	0%	0.00	0.20	0.08
14 流行性角結膜炎	3	—	0	—	0	—	3	0	—	0.60	0.00	0.83
基幹定点数	2		1		2		5					
15 細菌性髄膜炎	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.02
16 無菌性髄膜炎	1	100%	0	—	0	—	1	1	100%	0.20	0.20	0.03
17 マイコプラズマ肺炎	0	0%	1	—	0	—	1	4	25%	0.20	0.80	0.27
18 クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.01
19 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.20
合 計	169	137%	93	113%	118	119%	380	390	97%			

※中部の19の件数は、5の再掲(基幹定点が小児科定点と共通のため)。

週別患者報告数および定点当り患者数 (令和7年第5週 ~ 令和7年第13週)

区 分		今週 13週	12週	11週	10週	9週	8週	7週	6週	5週	令和7年 累計
1	インフルエンザ 1定点当り患者報告数(件)	39 1.34	31 1.07	38 1.31	28 0.97	19 0.66	11 0.38	41 1.41	67 2.31	120 4.14	3,485 9.24
2	新型コロナウイルス感染症 1定点当り患者報告数(件)	91 3.14	86 2.97	98 3.38	98 3.38	116 4.00	197 6.79	217 7.48	235 8.10	222 7.66	2,219 5.89
3	咽頭結膜熱 1定点当り患者報告数(件)	12 0.63	8 0.42	5 0.26	2 0.11	2 0.11	5 0.26	8 0.42	5 0.26	5 0.26	70 0.28
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1定点当り患者報告数(件)	62 3.26	67 3.53	90 4.74	79 4.16	59 3.11	87 4.58	60 3.16	62 3.26	92 4.84	858 3.47
5	感染性胃腸炎 1定点当り患者報告数(件)	127 6.68	169 8.89	135 7.11	135 7.11	126 6.63	115 6.05	94 4.95	74 3.89	92 4.84	1,318 5.34
6	水痘 1定点当り患者報告数(件)	9 0.47	3 0.16	5 0.26	1 0.05	1 0.05	2 0.11	4 0.21	3 0.16	2 0.11	42 0.17
7	手足口病 1定点当り患者報告数(件)	1 0.05	1 0.05	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.11	0 0.00	3 0.16	14 0.06
8	伝染性紅斑 1定点当り患者報告数(件)	18 0.95	10 0.53	11 0.58	16 0.84	7 0.37	8 0.42	8 0.42	2 0.11	8 0.42	126 0.51
9	突発性発疹 1定点当り患者報告数(件)	3 0.16	4 0.21	1 0.05	3 0.16	3 0.16	3 0.16	3 0.16	4 0.21	2 0.11	35 0.14
10	ヘルパンギーナ 1定点当り患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.11	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.01
11	流行性耳下腺炎 1定点当り患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.05	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.00
12	RSウイルス感染症 1定点当り患者報告数(件)	13 0.68	5 0.26	11 0.58	10 0.53	16 0.84	17 0.89	12 0.63	10 0.53	3 0.16	104 0.42
13	急性出血性結膜炎 1定点当り患者報告数(件)	0 0.00	1 0.20	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.02
14	流行性角結膜炎 1定点当り患者報告数(件)	3 0.60	0 0.00	1 0.20	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	8 0.12
15	細菌性髄膜炎 1定点当り患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.20	0 0.00	0 0.00	1 0.20	2 0.03
16	無菌性髄膜炎 1定点当り患者報告数(件)	1 0.20	1 0.20	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.20	0 0.00	2 0.40	0 0.00	6 0.09
17	マイコプラズマ肺炎 1定点当り患者報告数(件)	1 0.20	4 0.80	3 0.60	1 0.20	3 0.60	2 0.40	0 0.00	2 0.40	2 0.40	38 0.58
18	クラミジア肺炎(オウム病を除く) 1定点当り患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
19	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) 1定点当り患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	1 0.20	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.03
合 計		380	390	399	373	355	449	449	466	552	8,331

注: 累計欄の定点当たり患者報告数は1定点1週当たり患者報告数。

年齢別内訳

第13週 [令和7年3月24日(月)～30日(日)]

疾 病 名	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上
咽頭結膜熱	12	0	0	2	0	1	0	0	1	2	2	1	3	0	0
定点当り発生割合(件)	0.63	0.00	0.00	0.11	0.00	0.05	0.00	0.00	0.05	0.11	0.11	0.05	0.16	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	0	0	2	4	4	4	5	5	8	8	4	13	2	3
定点当り発生割合(件)	3.26	0.00	0.00	0.11	0.21	0.21	0.21	0.26	0.26	0.42	0.42	0.21	0.68	0.11	0.16
感染性胃腸炎	127	0	5	20	17	12	14	9	12	6	10	4	10	1	7
定点当り発生割合(件)	6.68	0.00	0.26	1.05	0.89	0.63	0.74	0.47	0.63	0.32	0.53	0.21	0.53	0.05	0.37
水痘	9	0	0	0	0	1	1	1	0	0	2	2	1	1	0
定点当り発生割合(件)	0.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.05	0.05	0.00	0.00	0.11	0.11	0.05	0.05	0.00
手足口病	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.05	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	18	0	0	1	1	1	5	4	4	0	0	1	1	0	0
定点当り発生割合(件)	0.95	0.00	0.00	0.05	0.05	0.05	0.26	0.21	0.21	0.00	0.00	0.05	0.05	0.00	0.00
突発性発疹	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.16	0.00	0.00	0.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス感染症	13	2	2	7	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.68	0.11	0.11	0.37	0.00	0.00	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※小児科定点数は19定点

年齢別内訳

第13週 [令和7年3月24日(月)～30日(日)]

疾病名	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
インフルエンザ	39	0	0	0	2	1	2	2	4	3	0	1	14	5	0	3	1	0	1	0	0
定点当り発生割合(件)	1.34	0.00	0.00	0.00	0.07	0.03	0.07	0.07	0.14	0.10	0.00	0.03	0.48	0.17	0.00	0.10	0.03	0.00	0.03	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	91	2	1	4	2	3	0	3	2	0	1	1	3	3	6	6	14	7	10	11	12
定点当り発生割合(件)	3.14	0.07	0.03	0.14	0.07	0.10	0.00	0.10	0.07	0.00	0.03	0.03	0.10	0.10	0.21	0.21	0.48	0.24	0.34	0.38	0.41

※インフルエンザ/COVID-19定点数は29定点

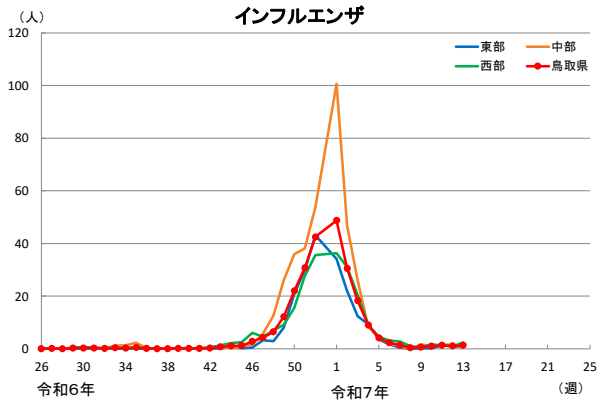
疾病名	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00

※眼科定点数は5定点

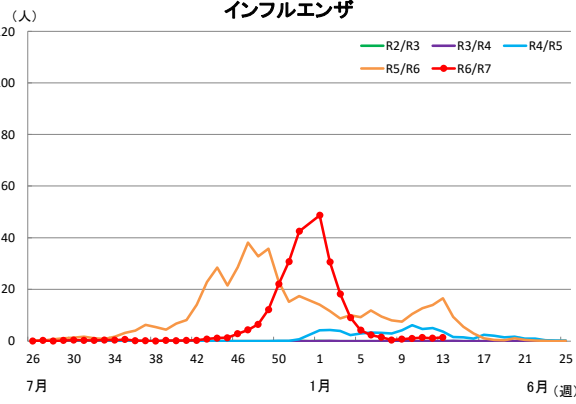
疾病名	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.20	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当り発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※基幹定点数は5定点

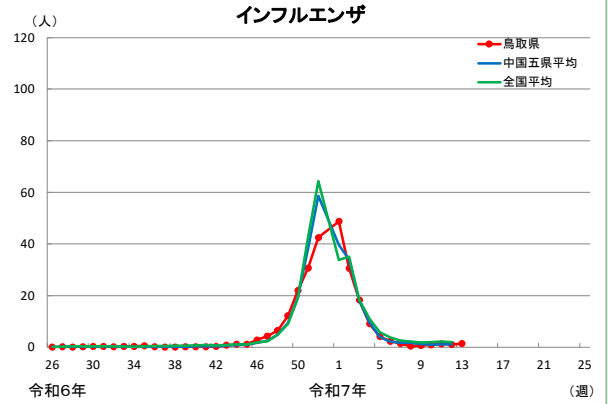
地区別発生状況(定点当たり)



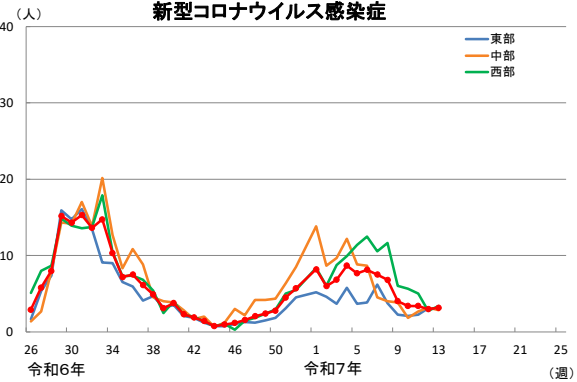
年次別発生状況(定点当たり)



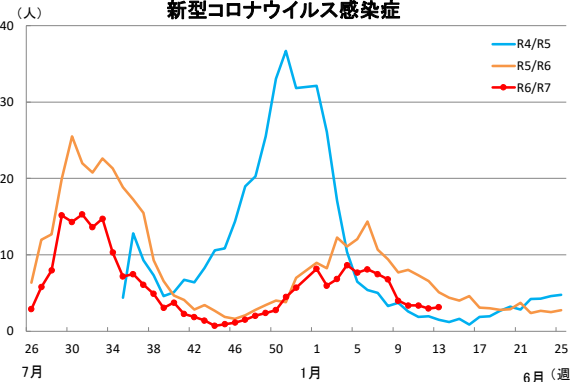
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



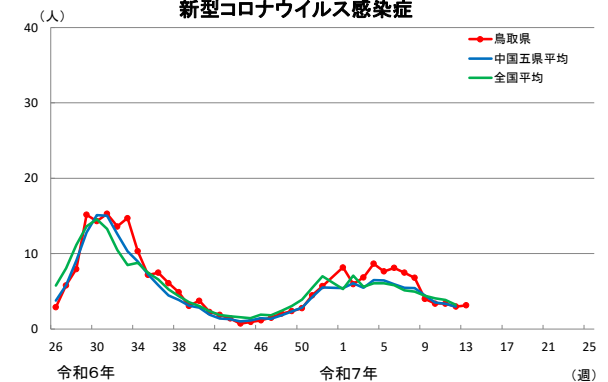
新型コロナウイルス感染症



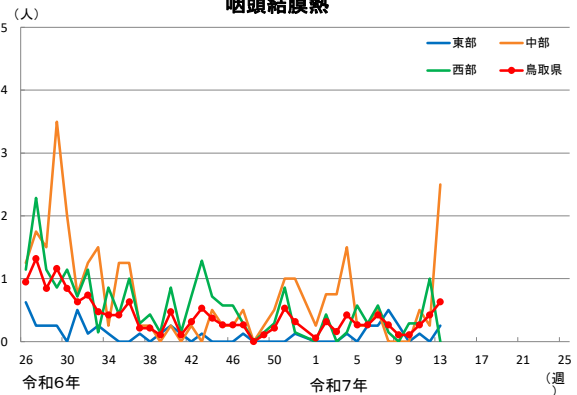
新型コロナウイルス感染症



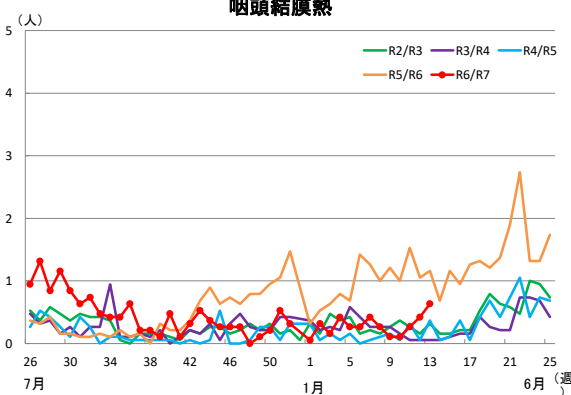
新型コロナウイルス感染症



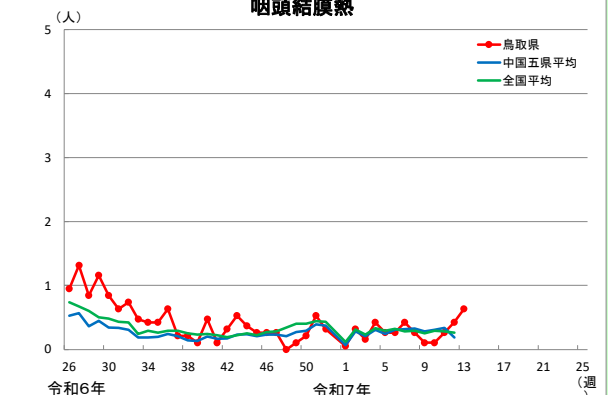
咽頭結膜熱



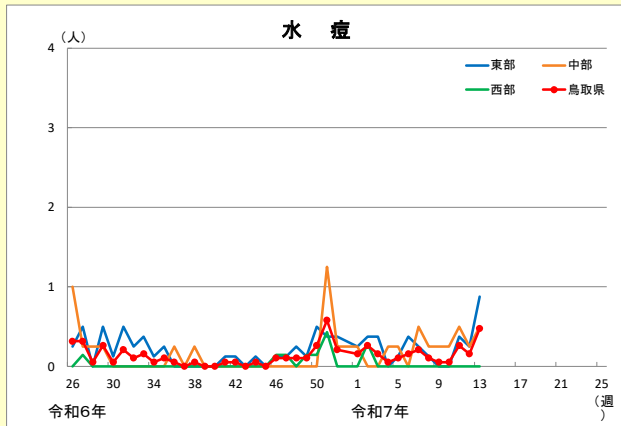
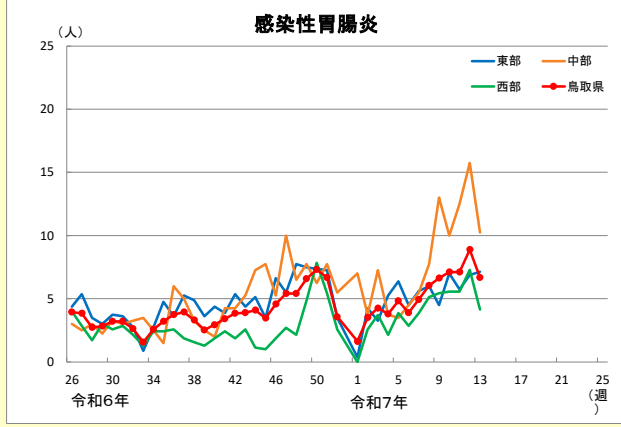
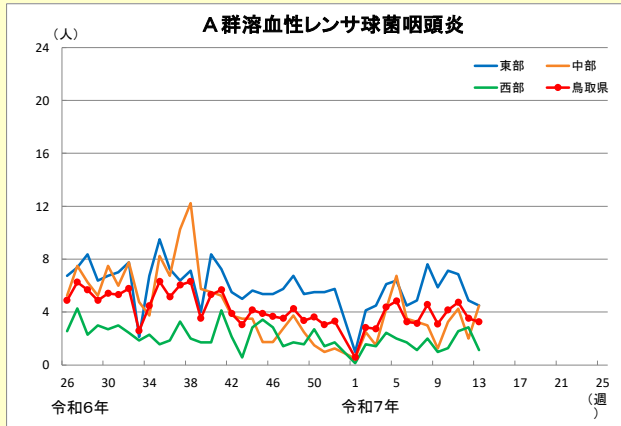
咽頭結膜熱



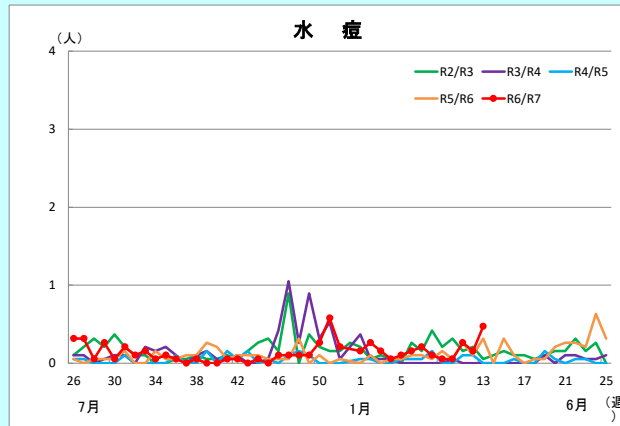
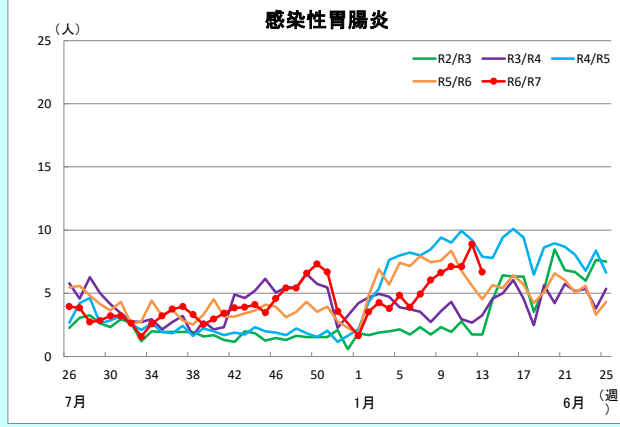
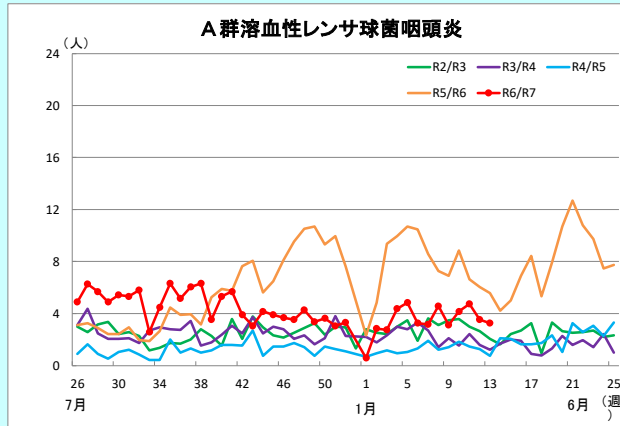
咽頭結膜熱



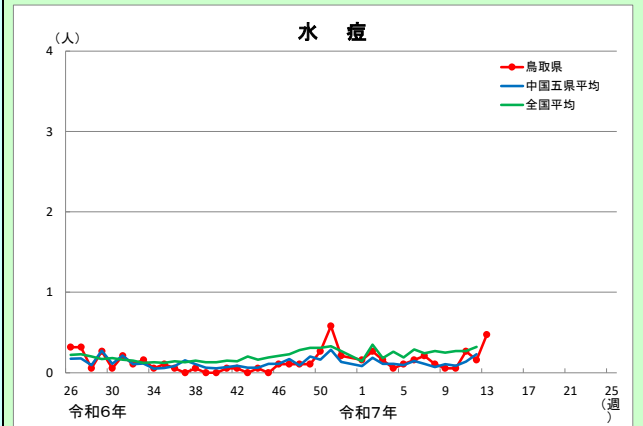
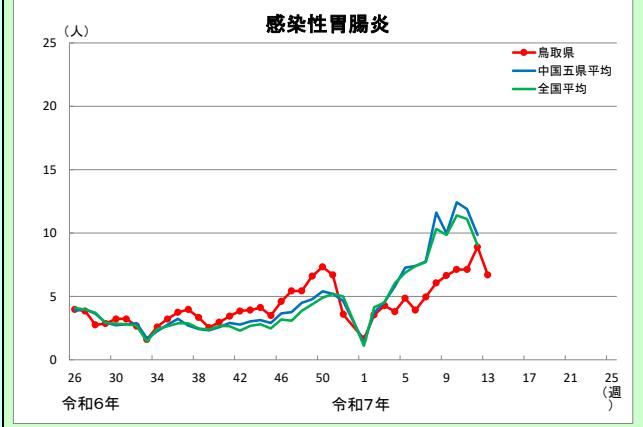
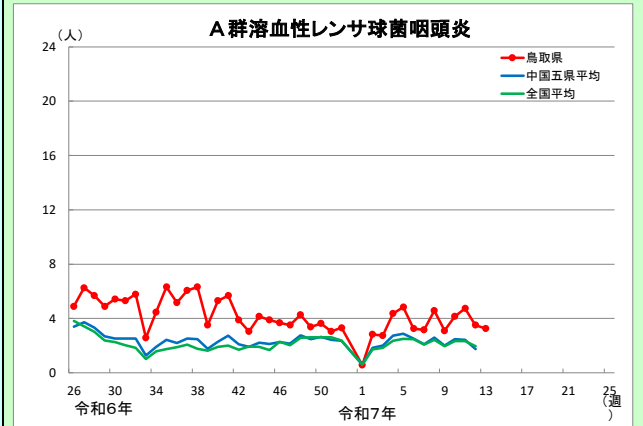
地区別発生状況(定点当たり)



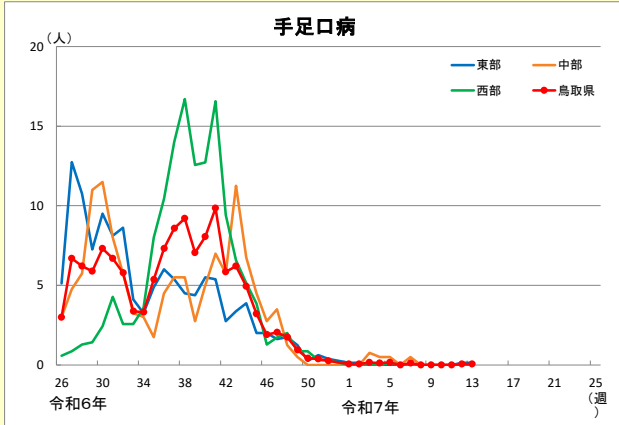
年次別発生状況(定点当たり)



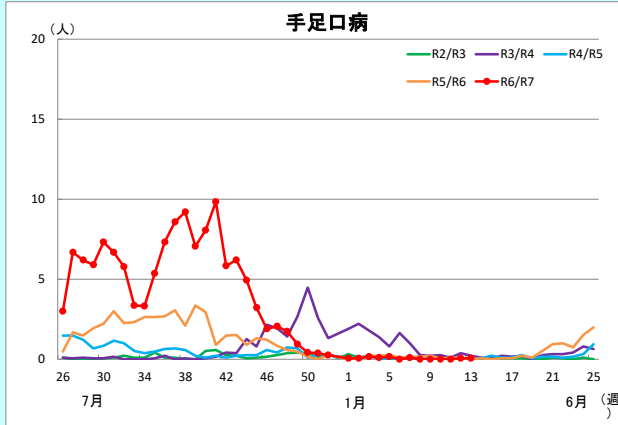
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



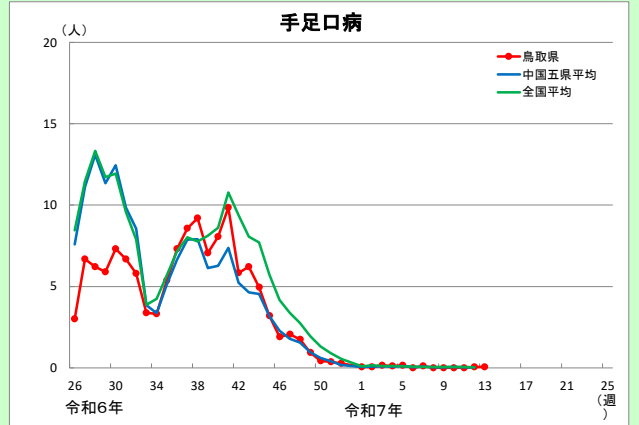
地区別発生状況(定点当たり)



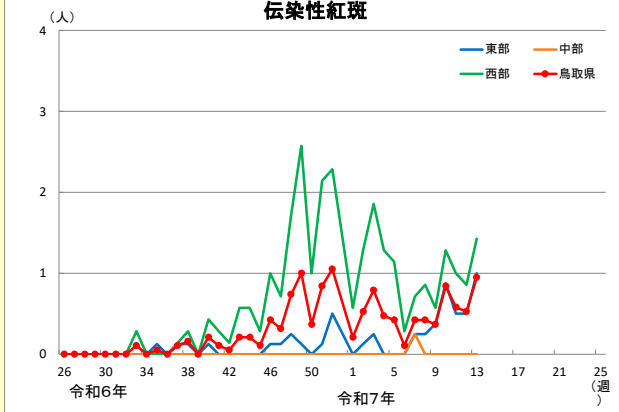
年次別発生状況(定点当たり)



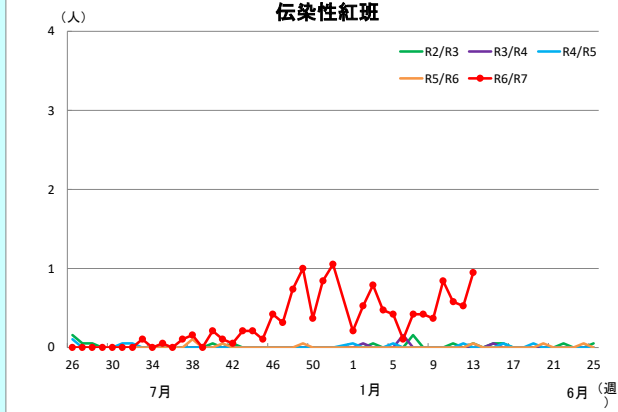
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



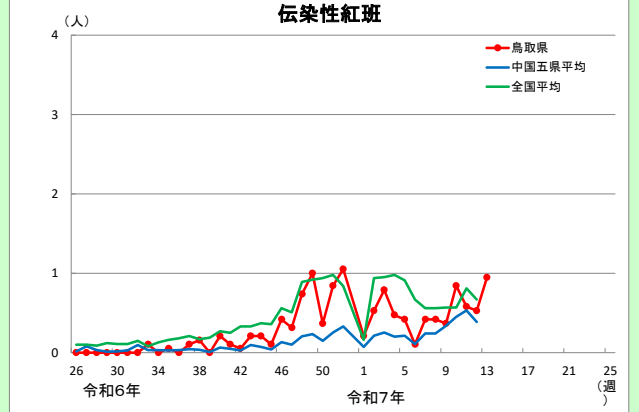
伝染性紅斑



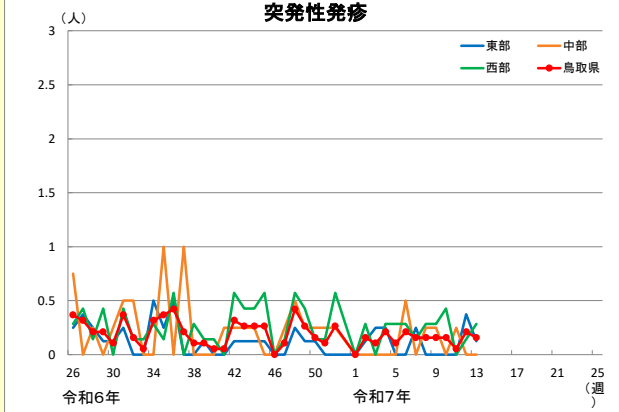
伝染性紅斑



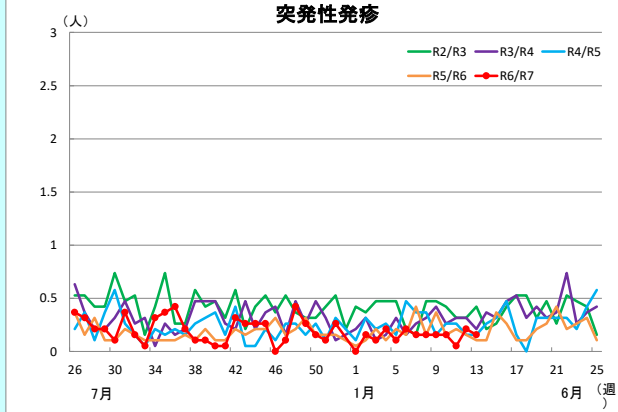
伝染性紅斑



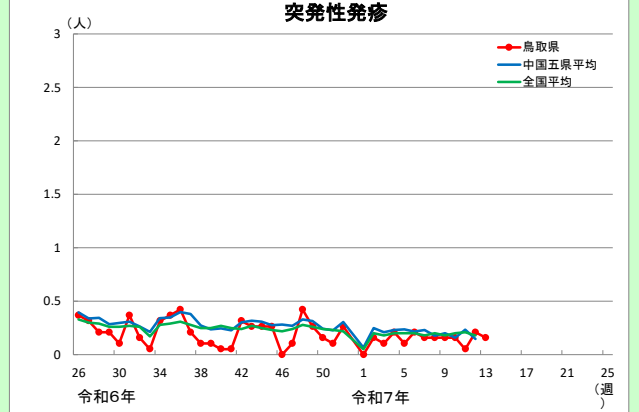
突発性発疹



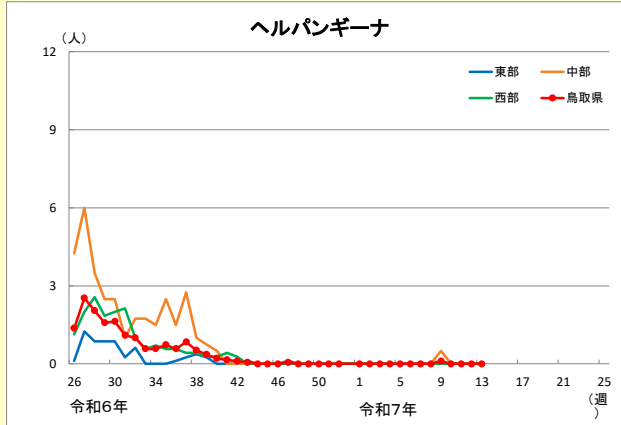
突発性発疹



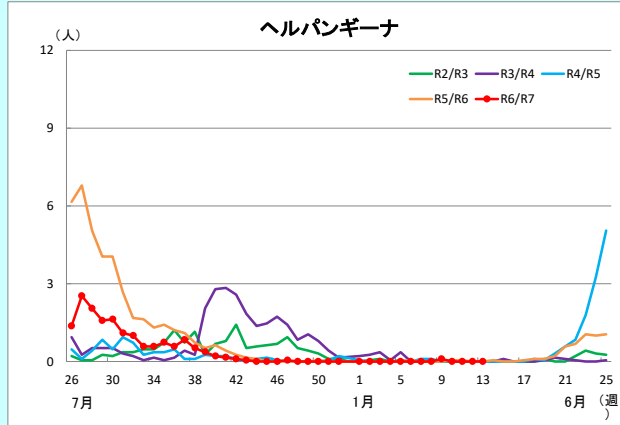
突発性発疹



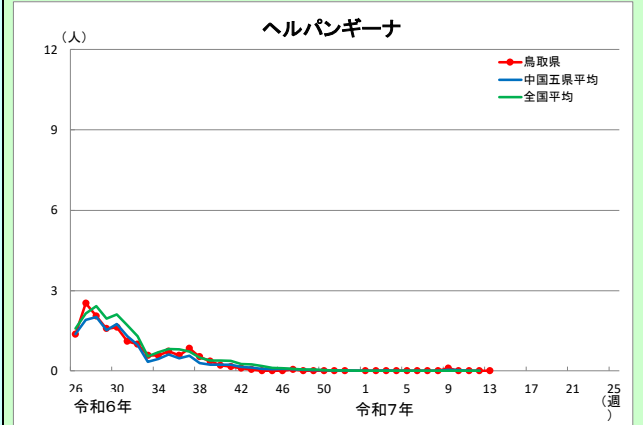
地区別発生状況(定点当たり)



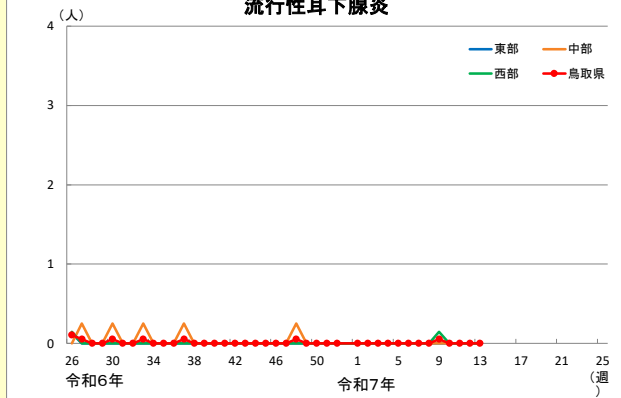
年次別発生状況(定点当たり)



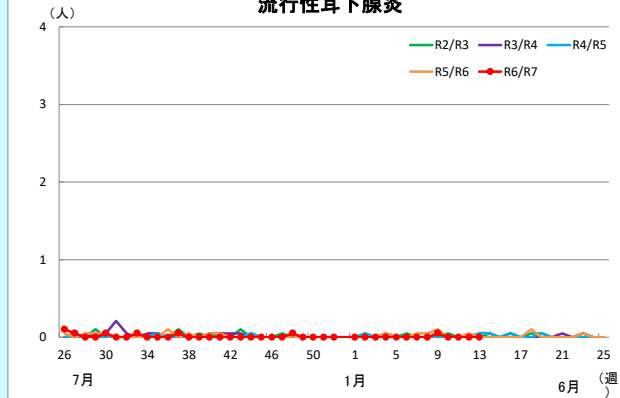
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



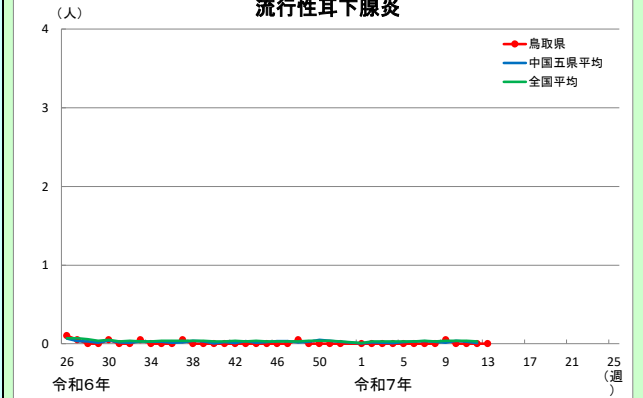
流行性耳下腺炎



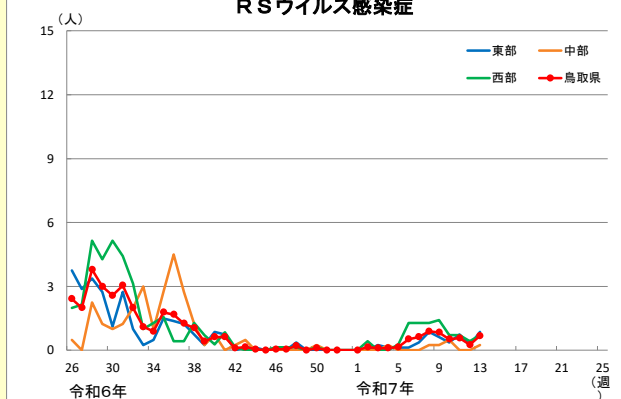
流行性耳下腺炎



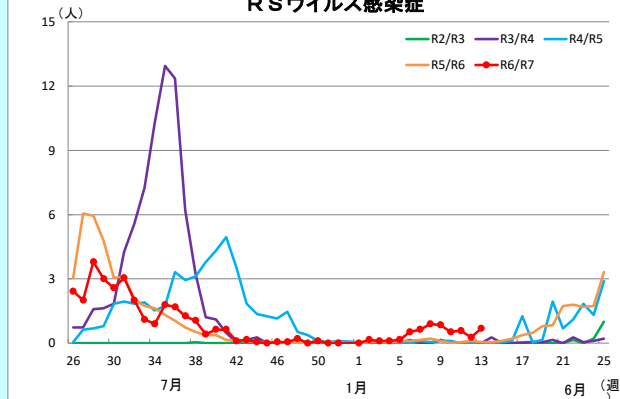
流行性耳下腺炎



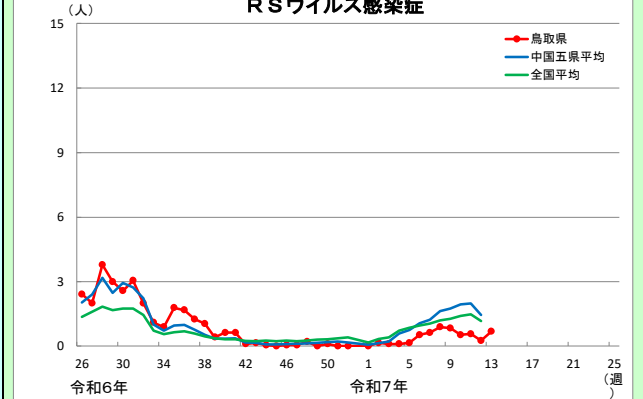
RSウイルス感染症



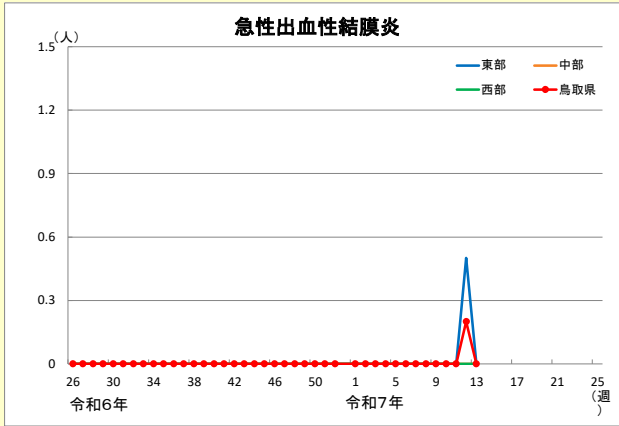
RSウイルス感染症



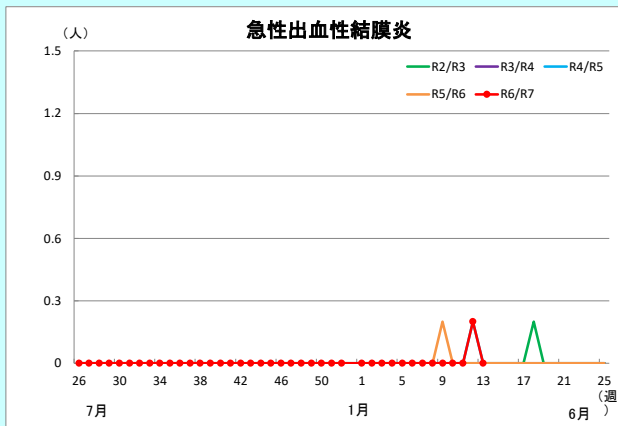
RSウイルス感染症



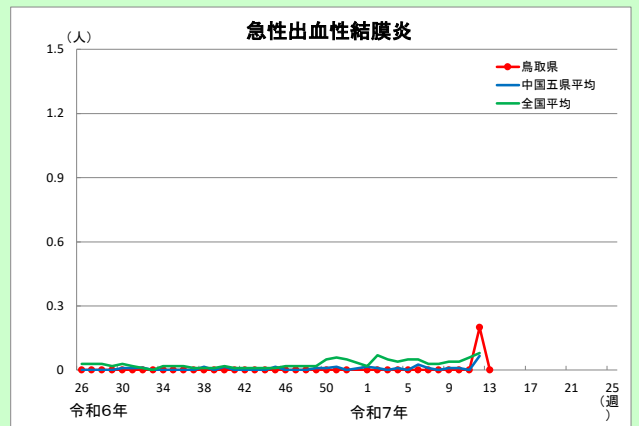
地区別発生状況(定点当たり)



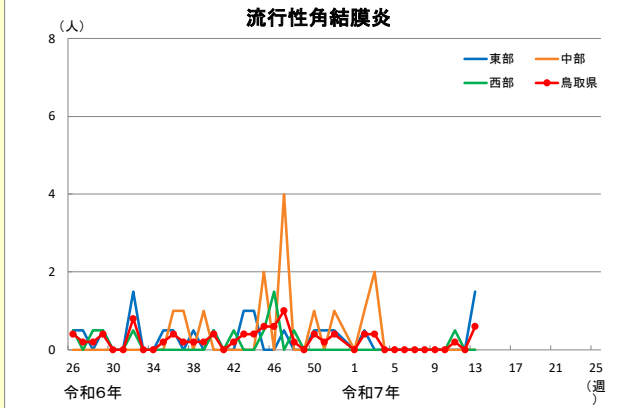
年次別発生状況(定点当たり)



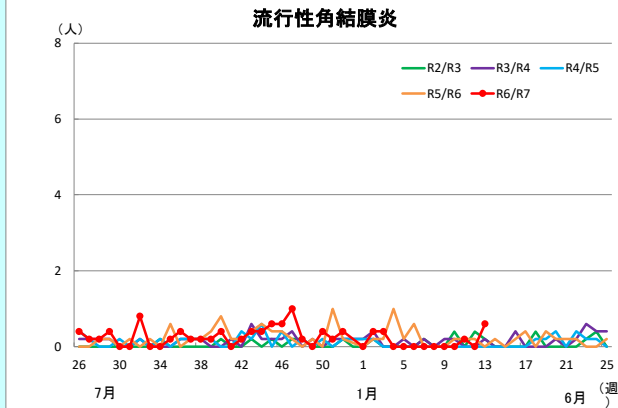
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



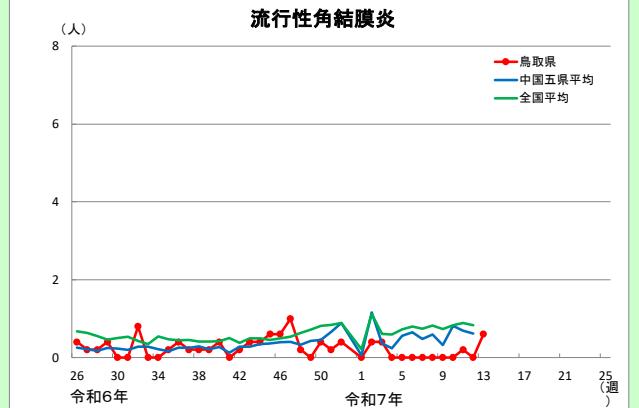
流行性角結膜炎



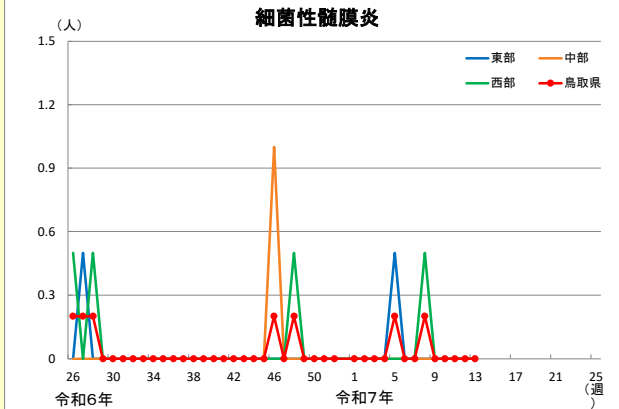
流行性角結膜炎



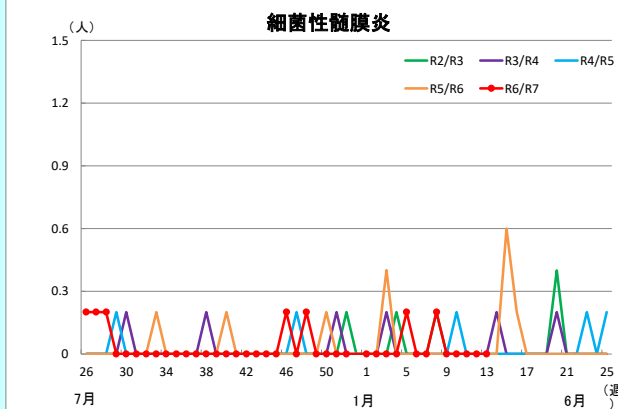
流行性角結膜炎



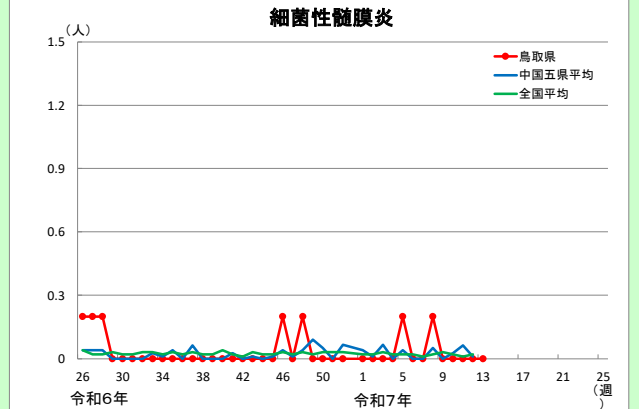
細菌性髄膜炎



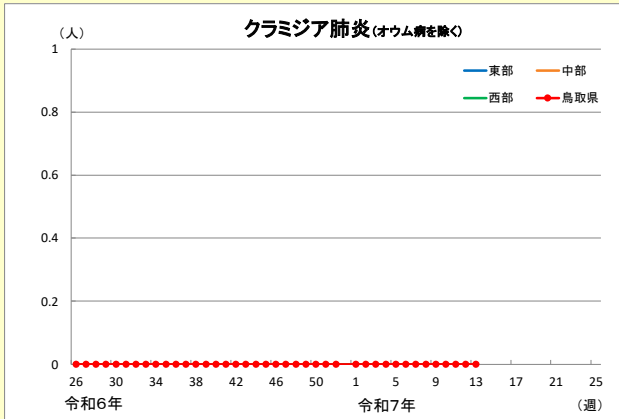
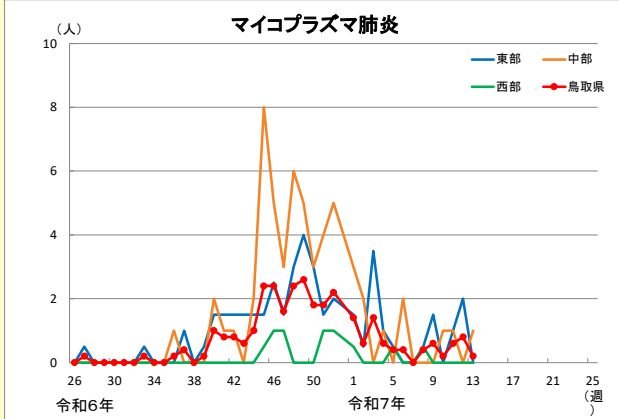
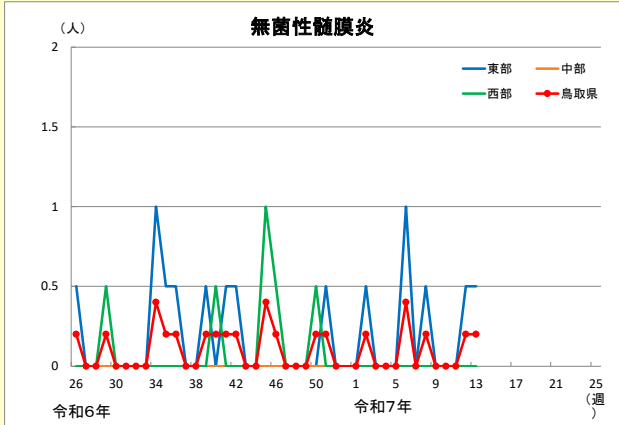
細菌性髄膜炎



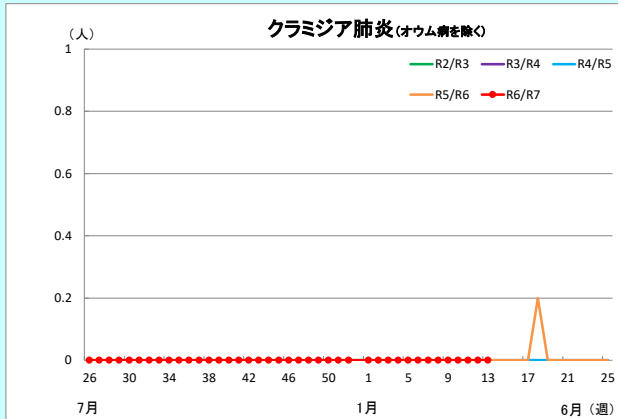
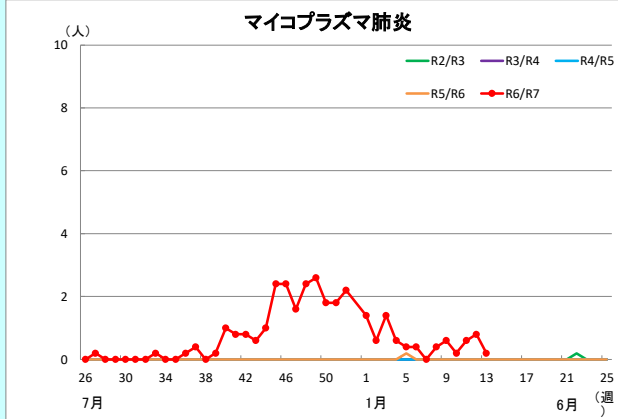
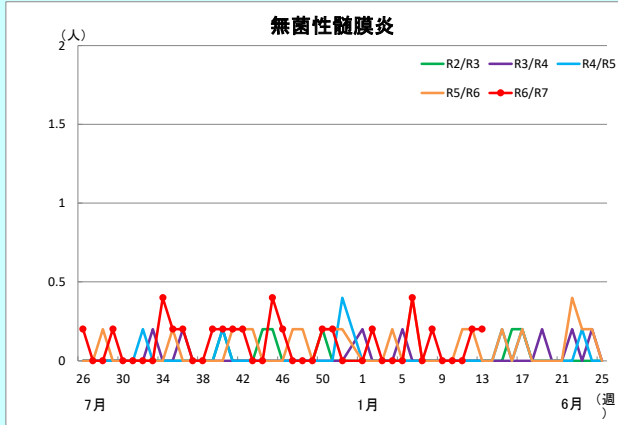
細菌性髄膜炎



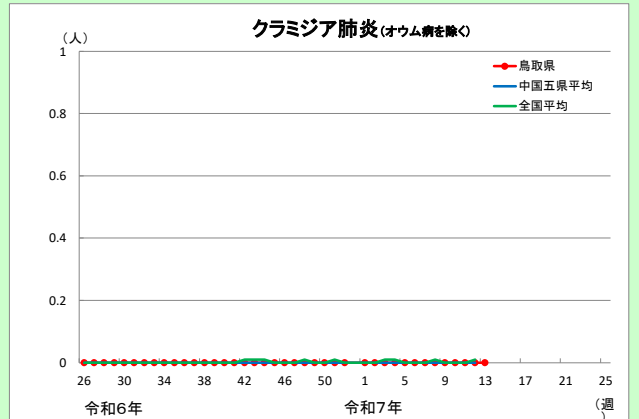
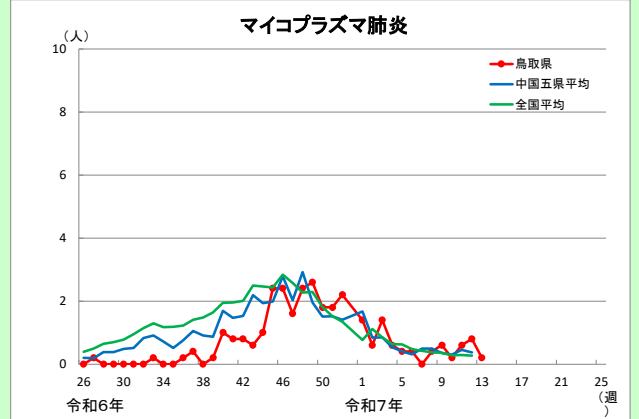
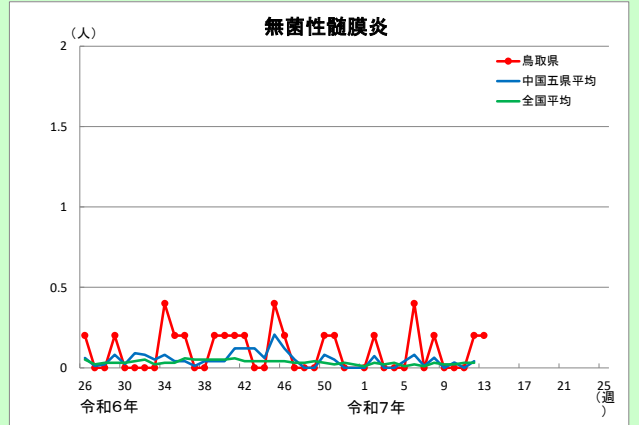
地区別発生状況(定点当たり)



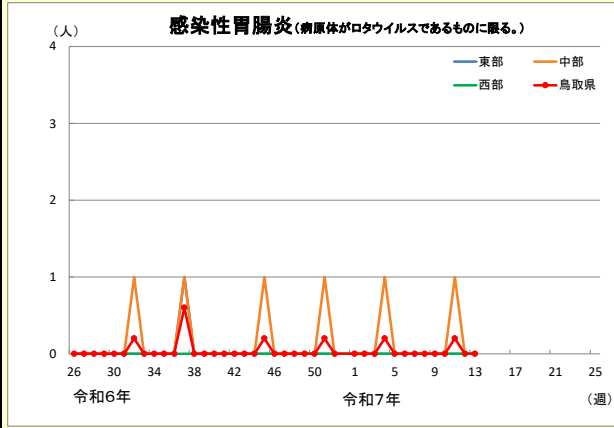
年次別発生状況(定点当たり)



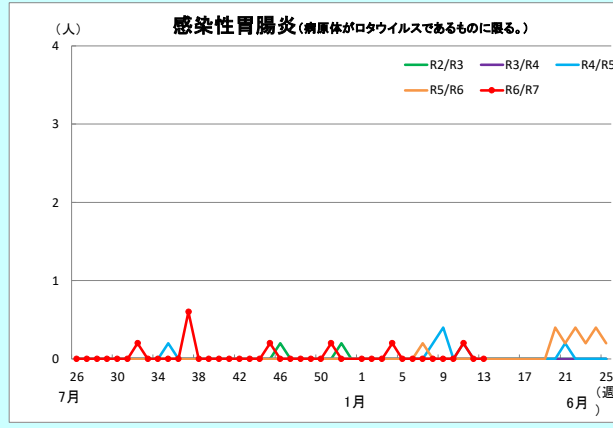
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



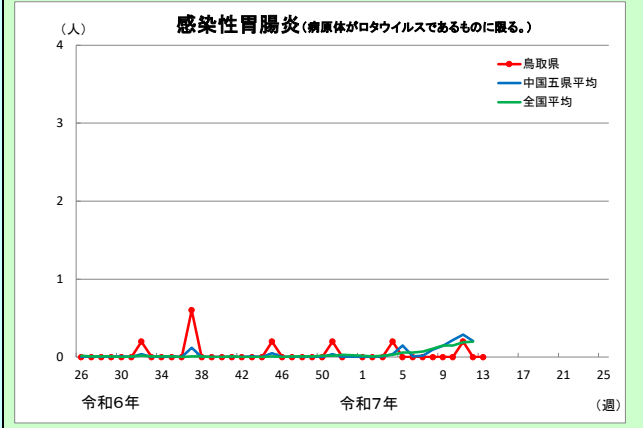
地区別発生状況(定点当たり)



年次別発生状況(定点当たり)



中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



注)新型コロナウイルス感染症は、令和5年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。

【コメント】

- 1 感染性胃腸炎は、東部地区で患者報告数が増加し、東部及び中部地区で流行しています。特に中部地区で依然高い水準にあり、注意が必要です。
- 2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。中部地区で患者報告数が増加しており、注意が必要です。
- 3 新型コロナウイルス感染症は、西部地区で患者報告数が増加しています。全地区で未だ一定数の患者報告が続いており、引き続き今後の感染動向に注意が必要です。
- 4 伝染性紅斑は、東部及び西部地区で患者報告数が増加し、流行しています。
- 5 咽頭結膜熱は、中部地区で患者報告数が急増し、流行しています。今後の感染動向に注意が必要です。
- 6 インフルエンザは、西部地区で患者報告数が増加しており、今後の感染動向に注意が必要です。
- 7 定点における患者報告数（「流行している」と判定された疾病または、20件を目途に報告数が多い疾病）；
 - ・感染性胃腸炎（127件）
 - ・新型コロナウイルス感染症（91件）
 - ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（62件）
 - ・インフルエンザ（39件）
 - ・伝染性紅斑（18件）
 - ・咽頭結膜熱（12件）

病名	特徴	予防のポイント	
		個別事項	共通事項
感染性胃腸炎	嘔吐、腹痛、下痢を主症状とする細菌やウイルス（ノロウイルス、ロタウイルス等）によって起こる感染力が非常に強い感染症です。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染した人の便や吐物を処理する場合には、必ずゴム手袋やマスクを着用しましょう。 ・便や吐物処理後の床、感染した人が触れた物などは、塩素系の消毒剤で消毒しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に流行時には手洗いをしっかりしましょう。 ・症状があった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱と咽頭痛、発疹等の症状がみられる細菌による感染症です。まれに重症化することもあり、小児だけでなく成人でも発症します。	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。 	
新型コロナウイルス感染症	発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状を主症状とする新型コロナウイルスの感染によって起こる感染症です。頭痛、下痢、結膜炎、嗅覚障害、味覚障害等を呈する場合があります。ご高齢の方、基礎疾患を持つ方は重症化するリスクがあります。	<ul style="list-style-type: none"> ・手指消毒、換気の徹底、場面に応じたマスク着用などに心がけ、特に高齢者と接する場合などは、体調を整えるようにしましょう。 ・重症化リスクの高い方は、近接した会話や混雑した場所を避けることが有効です。 ・感染の不安があり受診される場合は、医療機関へ事前に電話連絡の上、指示に従って受診しましょう。 	
伝染性紅斑	両方の頬にできる紅斑を主症状とするウイルスによる感染症です。重症化することはまれですが、妊婦が感染すると流産を起こすことがあります。	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中あるいは妊娠の可能性のある女性は、できるだけ感冒様症状のある方との接触を避けるよう注意してください。 	

咽頭結膜熱	アデノウイルスの感染により、発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状をきたす、小児に多い感染症です。	・感染者との密接な接触は避けましょう（タオルなどは個人用としましょう）。	
インフルエンザ	38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身症状を特徴とするインフルエンザウイルスの感染によって起こる感染症です。 子ども、ご高齢の方、免疫力の低下している方は、重症化することがあります。	・マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。	

※咳エチケット：咳、くしゃみが出る場合には、ティッシュ、ハンカチなどで鼻や口を押さえ飛沫を飛ばさないようにすること